

知恵や技術 結集を

かつお節業者ら全国大会

枕 崎

全国^{かつお}鯉節類青年連絡協議会の全国大会記念式典(同協議会主催)が1月28日、枕崎市のホテルであった。全国から若手かつお節業者ら約160人が参加し、業界発展のための連携強化を図った。

枕崎市での開催は8年ぶり5回目。同市や指宿市山川、静岡県などのかつお節生産業者と、東京や関西方面の販売業者が東日本大震災を受けた消費動向の情報を交換。協議会全体で推進する子ども

向け食育活動強化などの事業計画を確認した。

同日、新会長に選出された松原貴志さん(東京都)は「かつお節は日本食の根幹。業界を支える仲間として知恵やスキルを結集しよう」と呼びかけた。

式典後は、地元のタレントや劇団員が、枕崎のカツオ漁・かつお節製造の歴史をビデオや寸劇で紹介し、参加者を歓迎した。

不意打ち、でも冷静に



志布志市志布志小学校で1月津波を想定した打ちの避難訓練



かつお節を使った食育活動推進など事業計画を確認する参加者
＝枕崎市の枕崎観光ホテル岩戸

えびの市の春の風物詩、京町二日市は4、5の両日、同市向江のJR京町温泉駅前の通りで開かれる。約2きの歩行者天国に、約400店が出店。主催する市商工会は2日間で20万人の人出を見込む。

春呼ぶ京町二日市

日なに2う(大)品化名